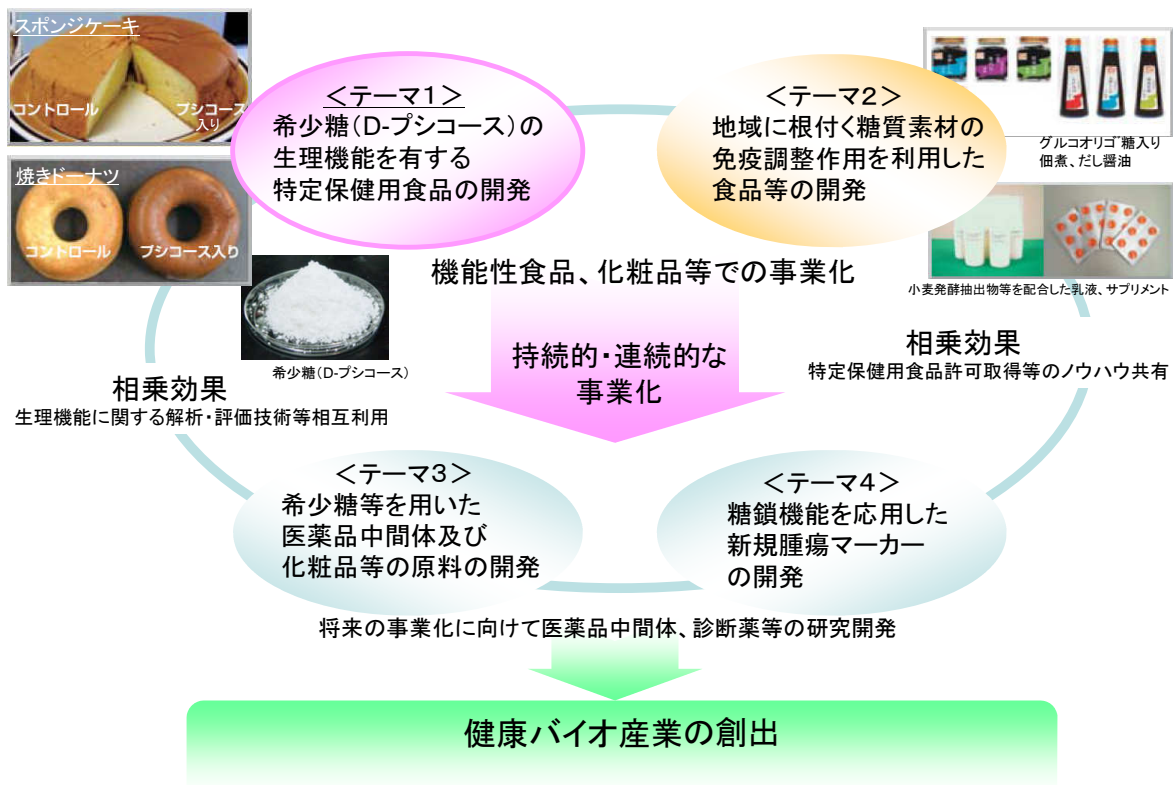


1. 「都市エリア産学官連携促進事業」（高松エリア）について

都市エリア産学官連携促進事業は、文部科学省による地域における科学技術振興の支援事業である。高松エリアでは、知的クラスター創成事業（文部科学省事業）などでこれまで積み上げてきた研究成果や県内企業による希少糖試薬の販売実績などを地域の資源として活用して、「希少糖」や「糖鎖」、「複合糖質」など、本県の特徴ある糖質を生かした食品や化粧品等の事業化、診断薬などの研究開発を企業と共同で進めている。

具体的には、これまでの研究開発を加速させるため、選択と集中により、テーマの絞込みを行い、希少糖（D-プシコース）の血糖値上昇抑制作用を生かした特定保健用食品の開発や、小麦や海藻などから得られる複合糖質を用いた食品等の開発などの、事業化に近い研究テーマに重点的に取り組んでいる。

[事業テーマ] 「特徴ある糖質の機能を生かした健康バイオ産業の創出」	[事業タイプ] 発展型
[事業期間] 平成20～22年度（3年間）	事業開始：20年7月
[事業費] 1.8億円程度/年（国費負担分）	
[事業実施主体（中核機関）] 財団法人かがわ産業支援財団	[核となる研究機関] 香川大学



都市エリア産学官連携促進事業（発展型）における希少糖研究は、D-プシコース類の早期の事業化を目指してテーマ1にて重点的に実施している。

テーマ1（A）では、D-プシコースを甘味素材として配合した各種食品の試作、加工工程や保存中のD-プシコースの動態変化解析などを行い、希少糖を広く各種食品に利用できるように、データ収集を行っている。（研究代表者：早川 茂 香川大学農学部教授 農学部長）

テーマ1（B）では、D-プシコースの「特定保健用食品」を実現し、さらにそれを多くの食品に発展させるために、D-プシコースの体内動態、臓器分布、代謝排泄の確認、糖尿病予防効果及び安全性の検証を行っている。（研究代表者：徳田 雅明 香川大学医学部細胞情報生理学 教授/香川大学希少糖研究センター長）